

「安全性」・「信頼性」を確保！

ささみ町から串本町までの地域では、国道42号が唯一の幹線道路ですが、急カーブなど線形の厳しい箇所や、大雨によるのり面崩落、台風による越波などにより被災するリスクの高い箇所が多数あります。また、南海トラフ巨大地震の発生時には、津波の襲来により最大6割の区間^{*}が浸水し、通行不能となることが予測されています。

すさみ串本道路の開通により、線形の厳しい箇所や災害のリスクが高い箇所を回避した通行が可能になります。

また、すさみ串本道路は、予測される津波高を回避できる高さで計画しており、津波発生時の一時的な避難場所として、地域の避難活動を支援するほか、救命・救急、災害復興に貢献する、災害時の安全性・信頼性を確保する道路です。

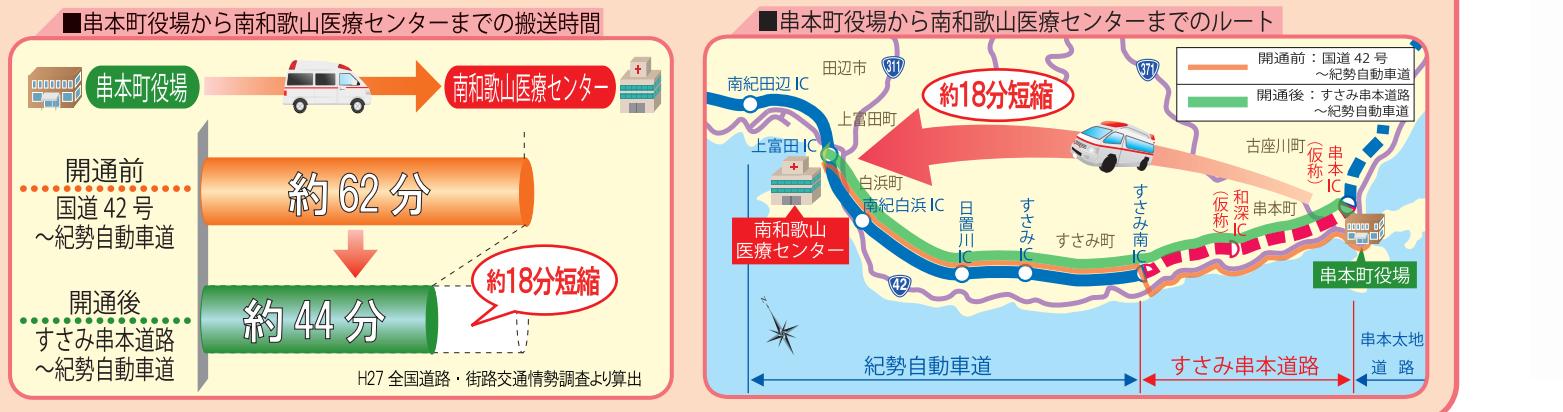
み串本道路に並行する国道 42 号の区間



救急医療に貢献！

すさみ串本道路の開通により、三次救急医療機関^{*}である南和歌山医療センターへの搬送時間が短縮されるとともに、搬送の定時性や走行安定性が確保され、救急医療活動に貢献します。

*三次救急医療機関とは重複不在救急患者（頭部損傷、心筋梗塞、脳卒中など）を24時間体制で受け入れる体制と高度な診療機能をもつ医療機関



観光の活性化に期待！

串本町には、温泉、景勝地（南紀熊野ジオパーク）など、さまざまな観光地、レジャー施設が点在しています。

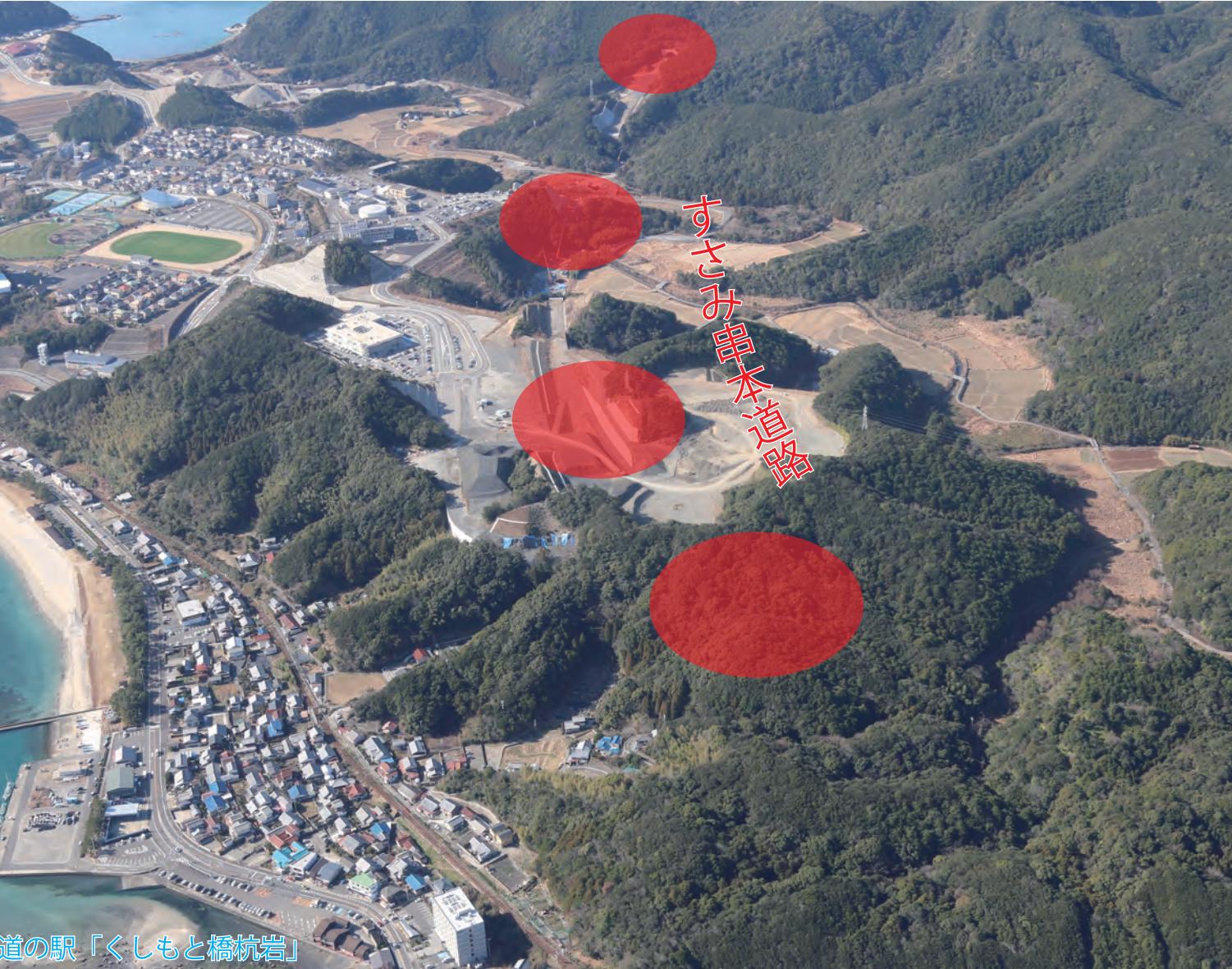
すさみ串本道路の開通により、京阪神方面からの所要時間が短縮され、アクセス性が向上することで、沿線地域の活性化が期待されます。



一般国道 42 号

すさみ串本道路

「安全・信頼」を築く道づくり



すさみ串本道路へ寄せる地域の声



くしもと町立病院

現在、当病院でより高次の医療が必要となった患者は、救急車で約70km離れた田辺市の医療機関に搬送していますが、国道42号での搬送は、時間とともに急なカーブが多く、患者への身体的負担を懸念しています。

また、輸血時は約 77km 離れた田辺市の医療センターの出張所から血液を取り寄せていますが、血液運搬に時間は要するところに、特に緊急手術時にはそのリスクは多くです。

そのうちに、四辻先生のアカヒコ時間の短縮化した高速道路は、まさに「命の道」です。

国土交通省近畿地方整備局
紀南河川国道事務所

0003 和歌山県田辺市中万呂 142 Tel.0739-22-4564 (代)

を発見したら
イヤホンでお知らせください。#9910 24時間
無料受付
は道路交通法により禁止されています。安全な場所に停車してからのご連絡をお願いします。